

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千四百六十號

昭和十八年八月七日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房備第一四四號ノ五

昭和十七年官房第七八九四號ニ依ル第二十二海軍軍用郵便所ハ昭和十八年七月二十六日ヨリ事務ヲ開始ス

昭和十八年七月二十六日

海軍大臣

(参照) 五月二十一日本備

官房軍機密第九三九號

昭和十八年官房教機密第一八四號ニ依リ青島方面特別根據地隊ニ於テ實施スル見習尉官第一期實務練習ノ爲配員セラレタル首席兵科將校ハ教育ノ準備及實施並ニ同教育ニ従事スル者及見習尉官ノ身上取扱ニ關シ所轄長ニ準ジ服務セシムルコトヲ得

昭和十八年八月五日

海軍大臣

○通 牒

海人機密第一號ノ三五五

昭和十八年八月七日

海軍省人事局長
海軍省教育局長

内令 要登載

各鎮守府、艦隊、警備府參謀長
海軍練習聯合航空總隊參謀長
關 係 各 所 轄 長 殿

昭和十八年六月一日以降充員召集ノ第一補充兵、第二補充兵及第二國民兵ニ對スル人事取扱等ニ關スル件中正ノ件申進本年海人機密第一號ノ一九二ニ依ル首題ノ件中左記ノ通改メラシ候

記

第五號ヲ削リ第六號ヲ第五號トシ以下順次繰上グ

(昭和十八年五月二十九日海軍公報(部内限)参照)

○ 辭 令

海軍公報(部内限) 第四千四百六十號 昭和十八年八月七日

八三一

0922

「タイ」國駐在員監督ヲ命ス(註五)海軍省 海軍大佐 小倉 真二

海軍中佐 丸山 範三

昭和十八年七月三十一日乃至八月六日施行ノ海軍兵學校、海軍機關學校及海軍經理學校生徒採用學術試驗臨時委員ヲ命ス(註一)同

海軍中佐 宮下 省吾

船舶應急處理委員會副委員ヲ命ス

船舶應急處理委員會幹事ヲ命ス(註四)同

海軍主計中佐 柴介 壽夫

第五課勤務ヲ命ス

海軍主計少佐 村岡 達志

第一課勤務ヲ命ス(註三)海軍省經理局

同 阿比留 幸助

第五課勤務ヲ命ス(註二)同

○雜款

○事務所撤去

對島艦裝員事務所ハ七月二十八日撤去セリ

驅逐艦早波艦裝員事務所ハ七月三十一日撤去セリ

伊號第四十潜水艦艦裝員事務所ハ七月三十一日撤去セリ

藤波艦裝員事務所ハ七月三十一日撤去セリ

六連艦裝員事務所ハ七月三十一日撤去セリ

○本日普通公報發行セズ

0923

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

○ 懲 罰

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年八月七日(土)

海軍大臣官房

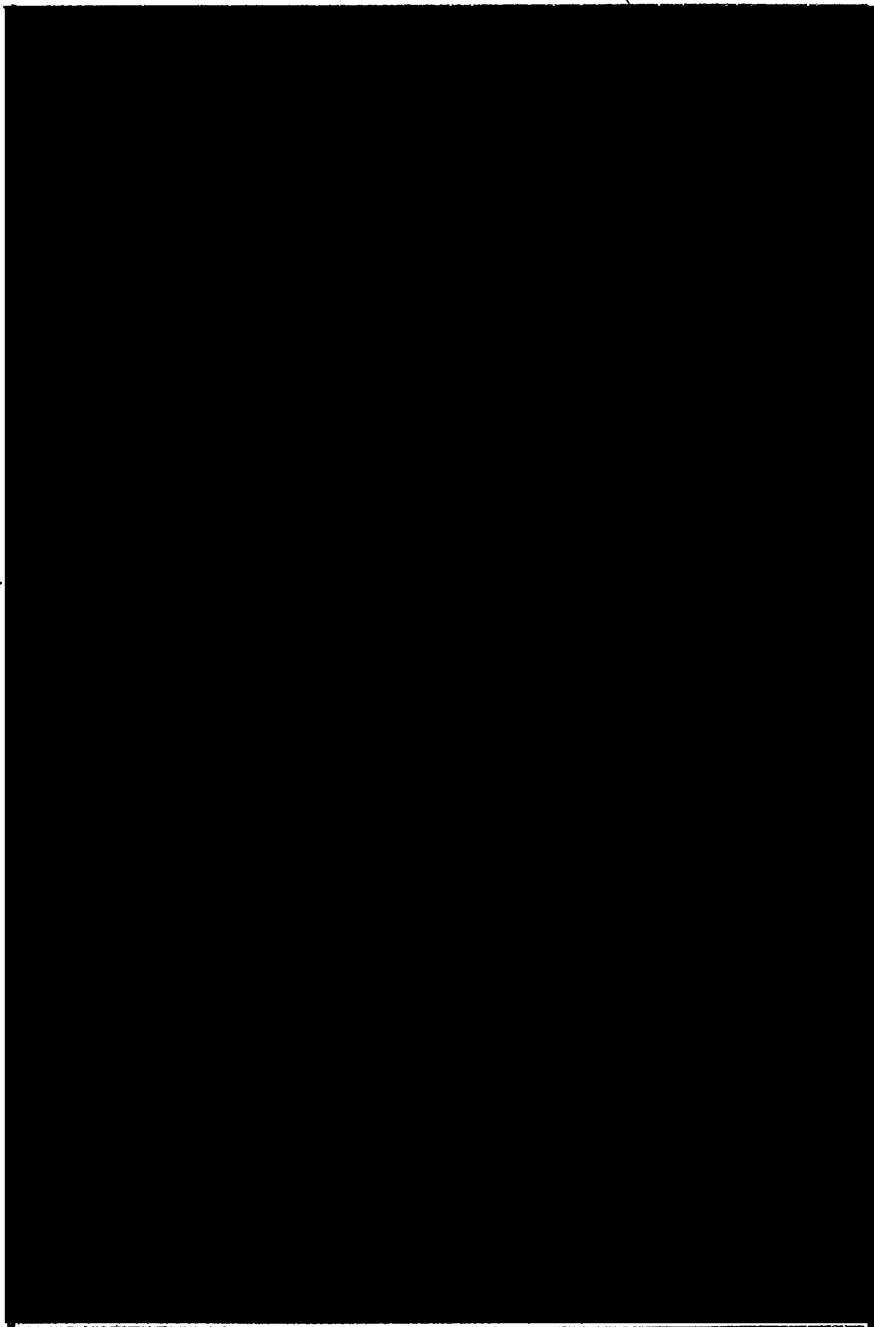
0924

海軍公報 (部内限) 號外

二

0925

海軍公報 (部内限) 號外



0926

海軍公報 (部内限) 號外

四

0927

海軍公報 (部内限) 號外

五

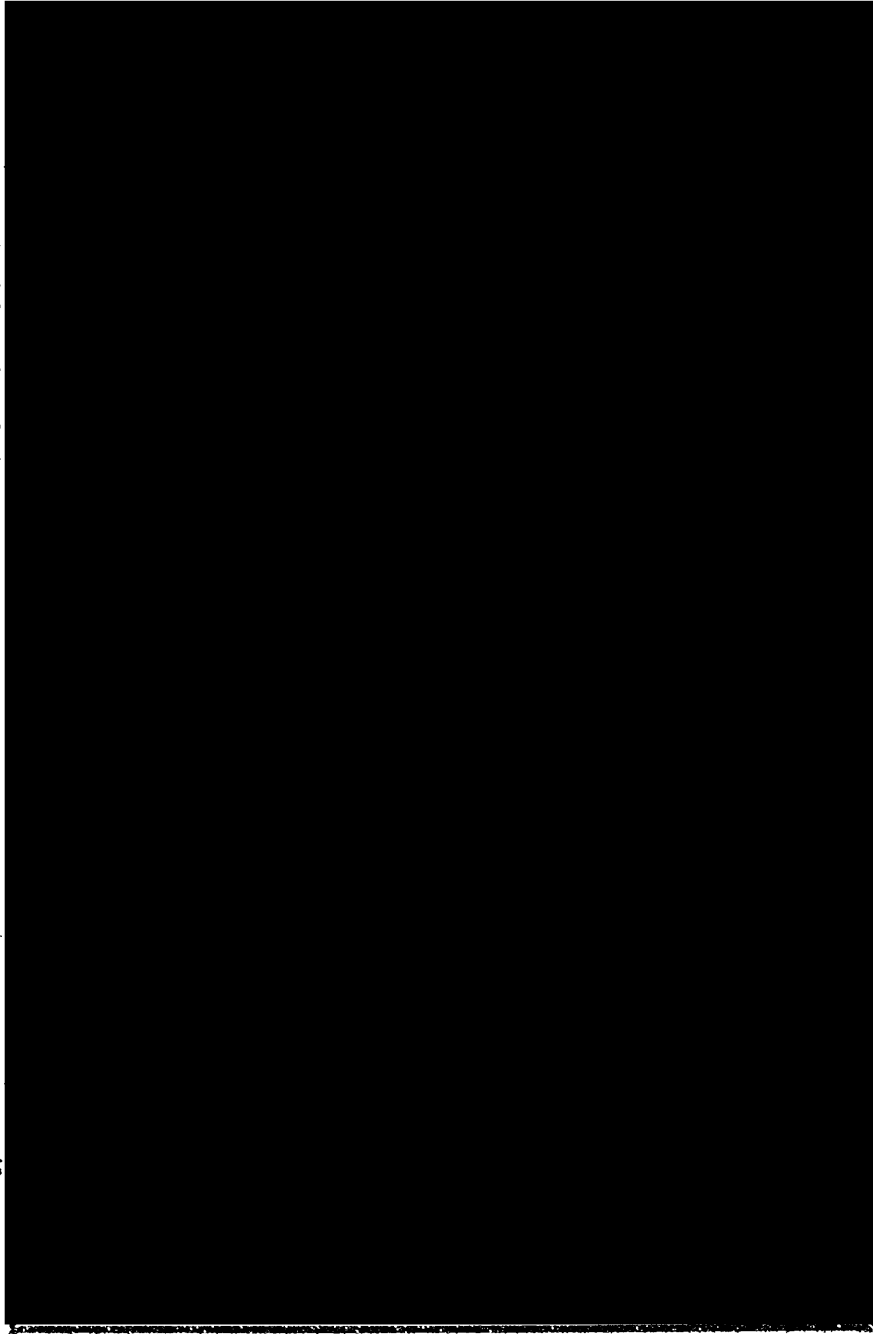
0928

海軍公報 (部内限) 號外

六

0929

海軍公報
(部内限)
號外



七

0930

海軍公報
(部内限)
號外



八

0991

海軍公報
(部内限)
號外

九

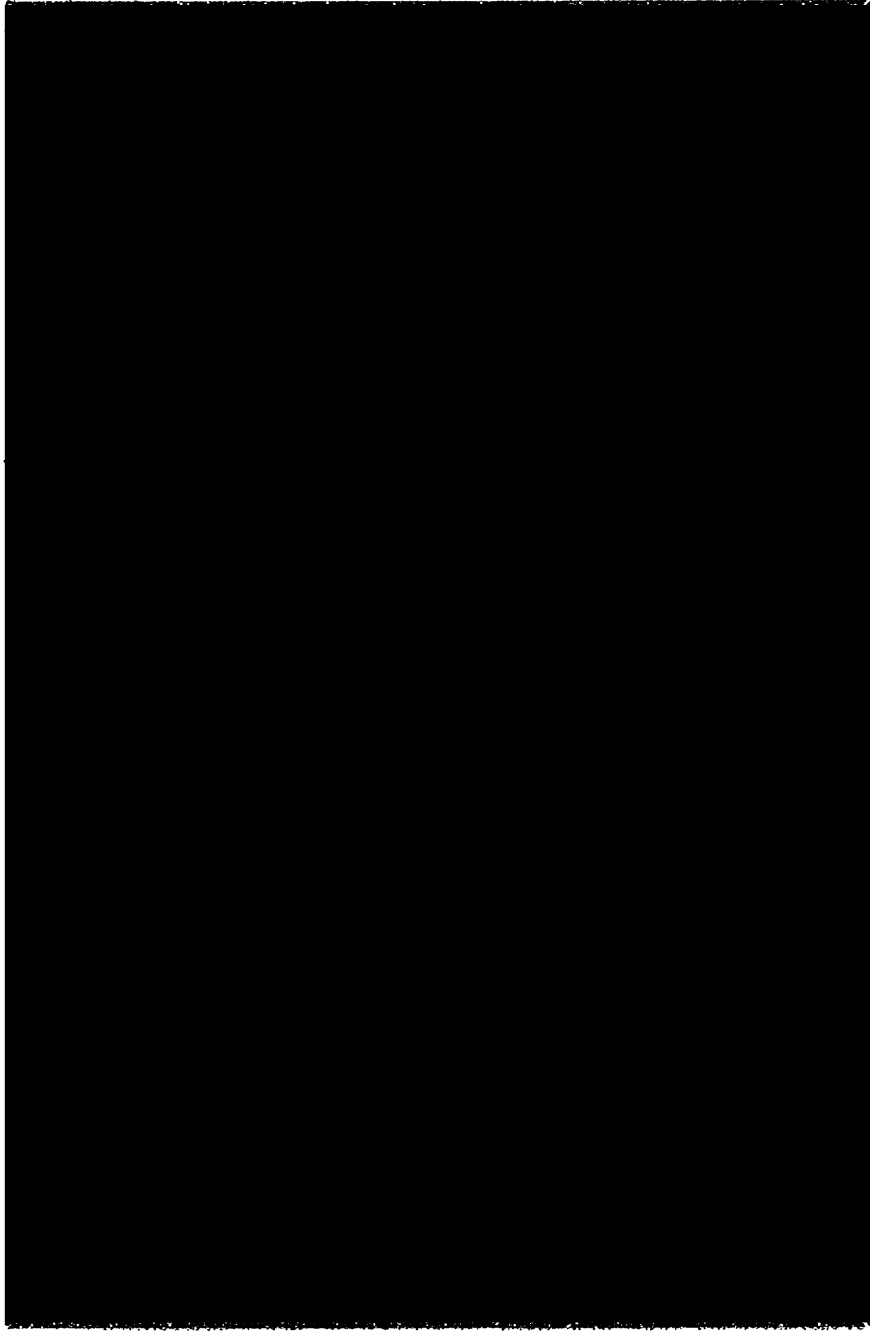
0932

海軍公報 (部内限) 號外

一〇

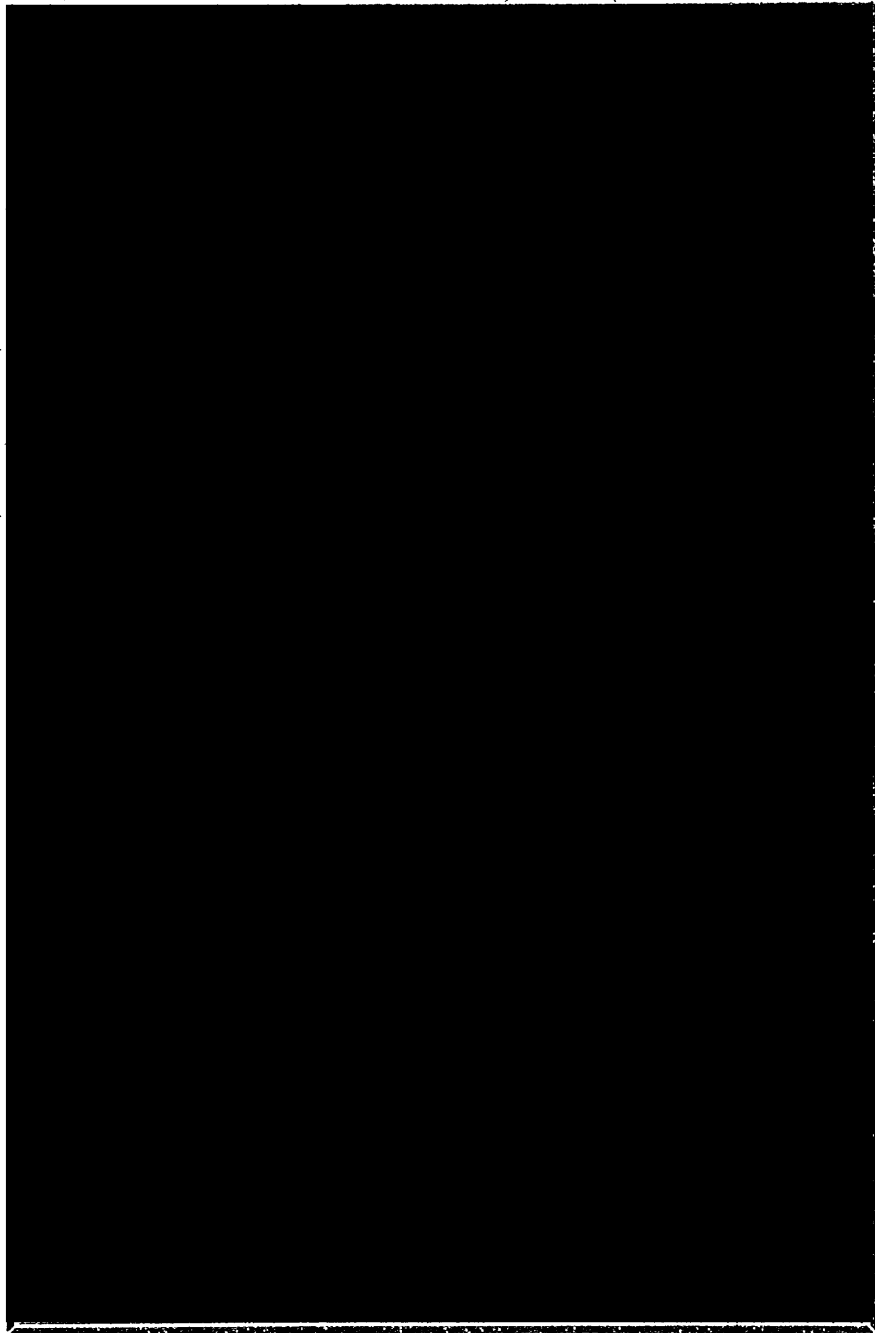
0933

海軍公報 (部内限) 號外



0934

海軍公報 (部内限) 號外



0935

海軍公報
(部内限)
號外

一三

0936

海軍公報
(部内限)
號外

一四

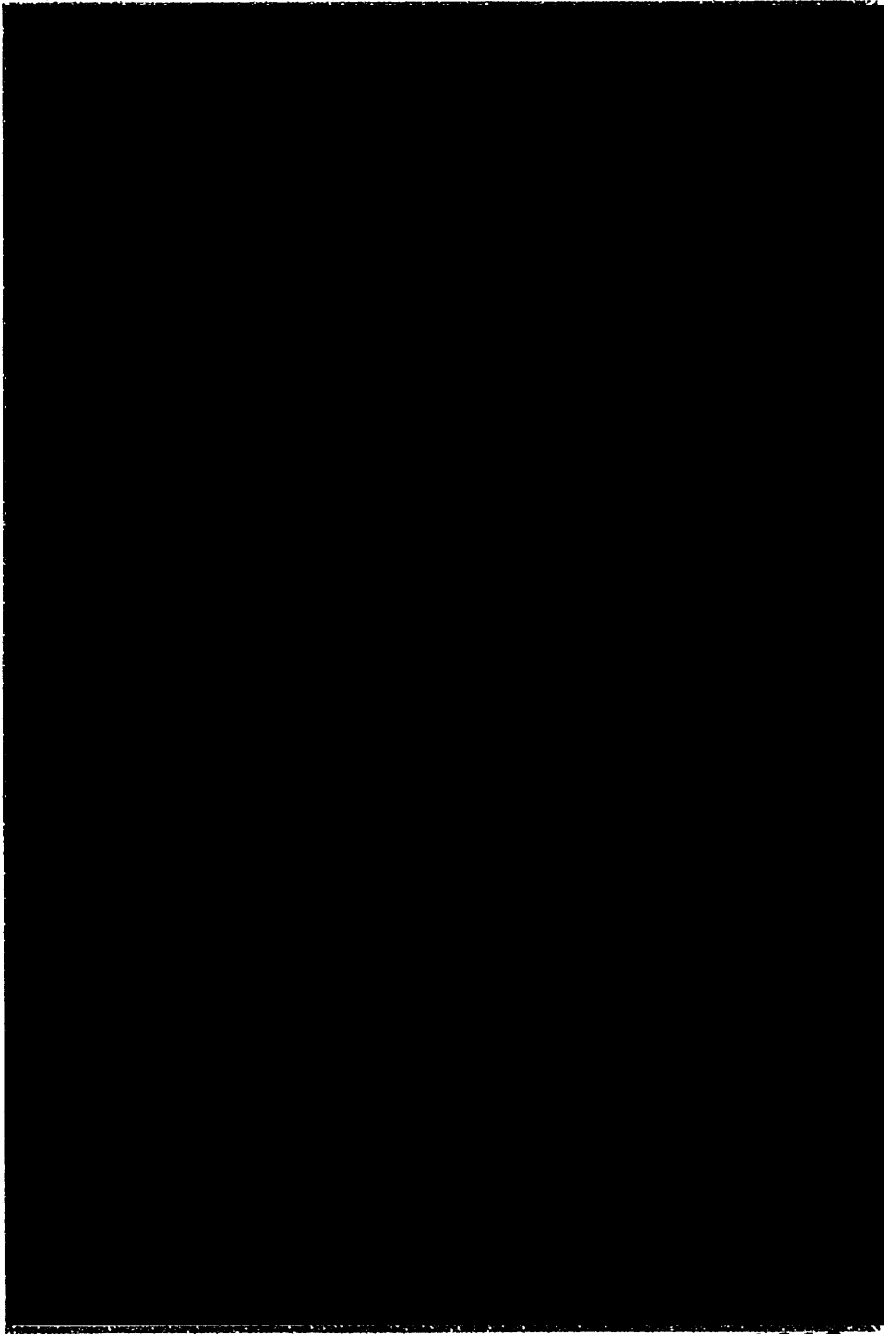
0937

海軍公報 (部内限) 號外

一五

0938

海軍公報
(部内限)
號外

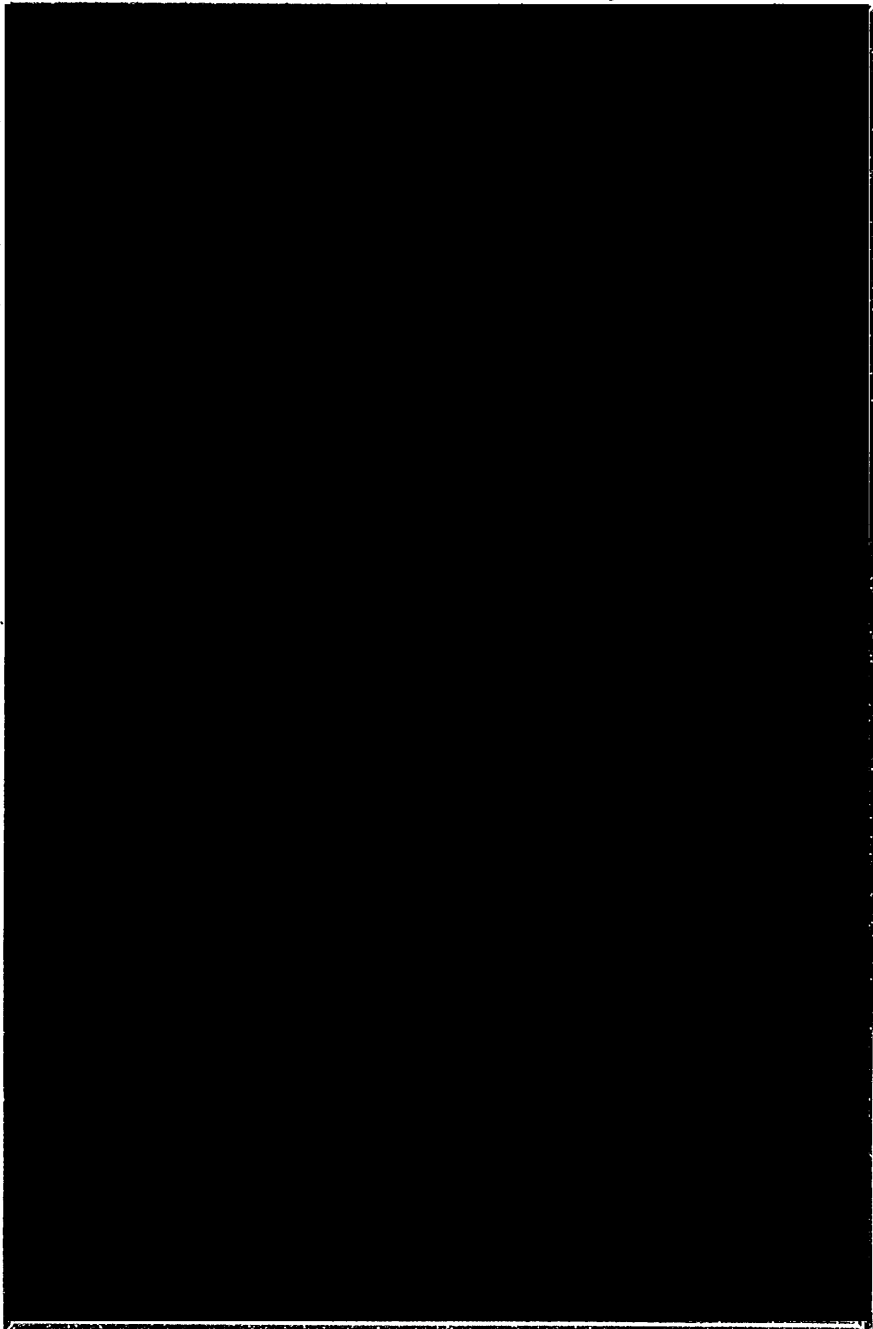


一六

0939

海軍公報
(部内限)
號外

一七



0940

海軍公報 (部内限) 號外

二八

0941

海軍公報 (部内限) 號外

一九

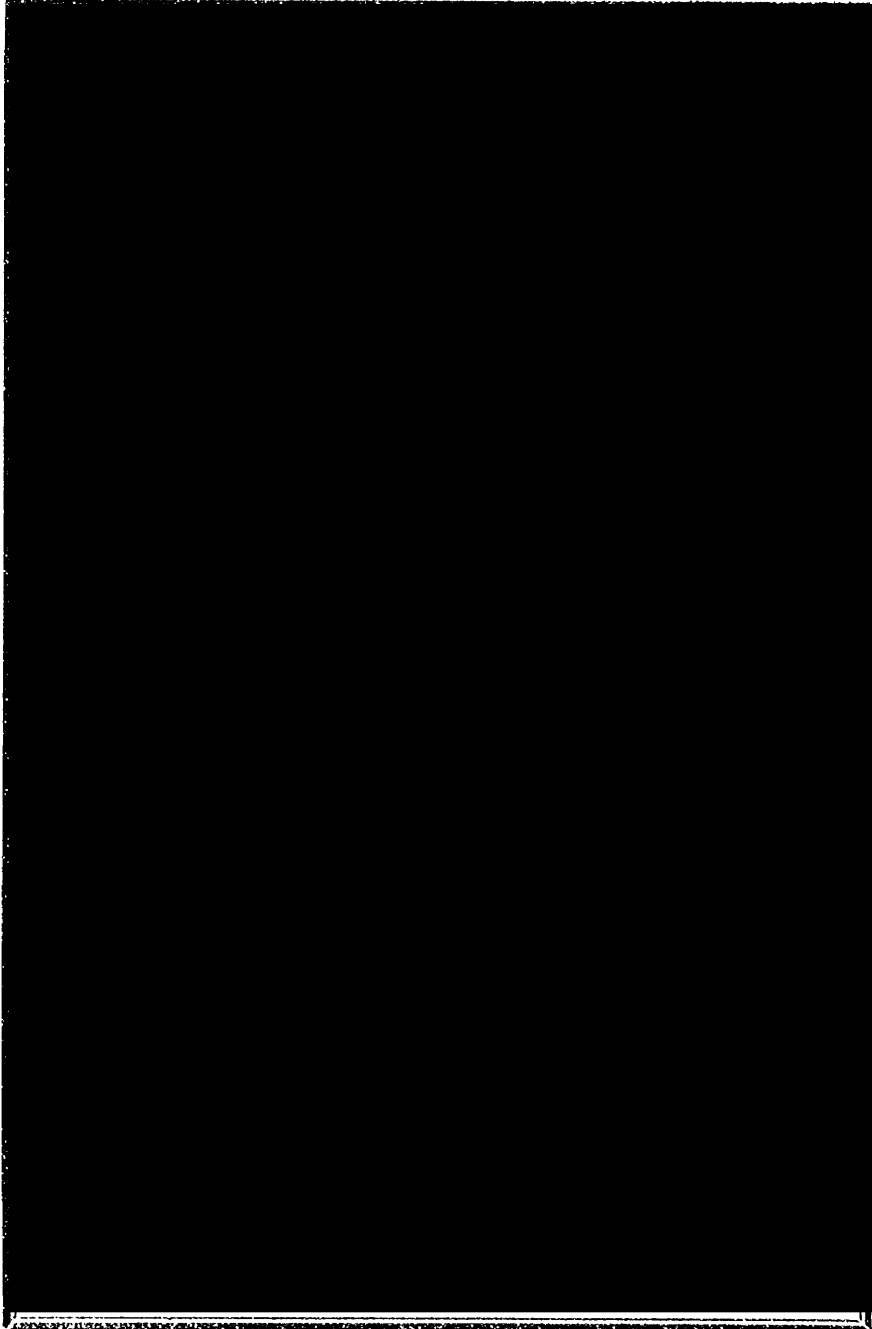
0942

海軍公報 (部内限) 號外

二〇

0943

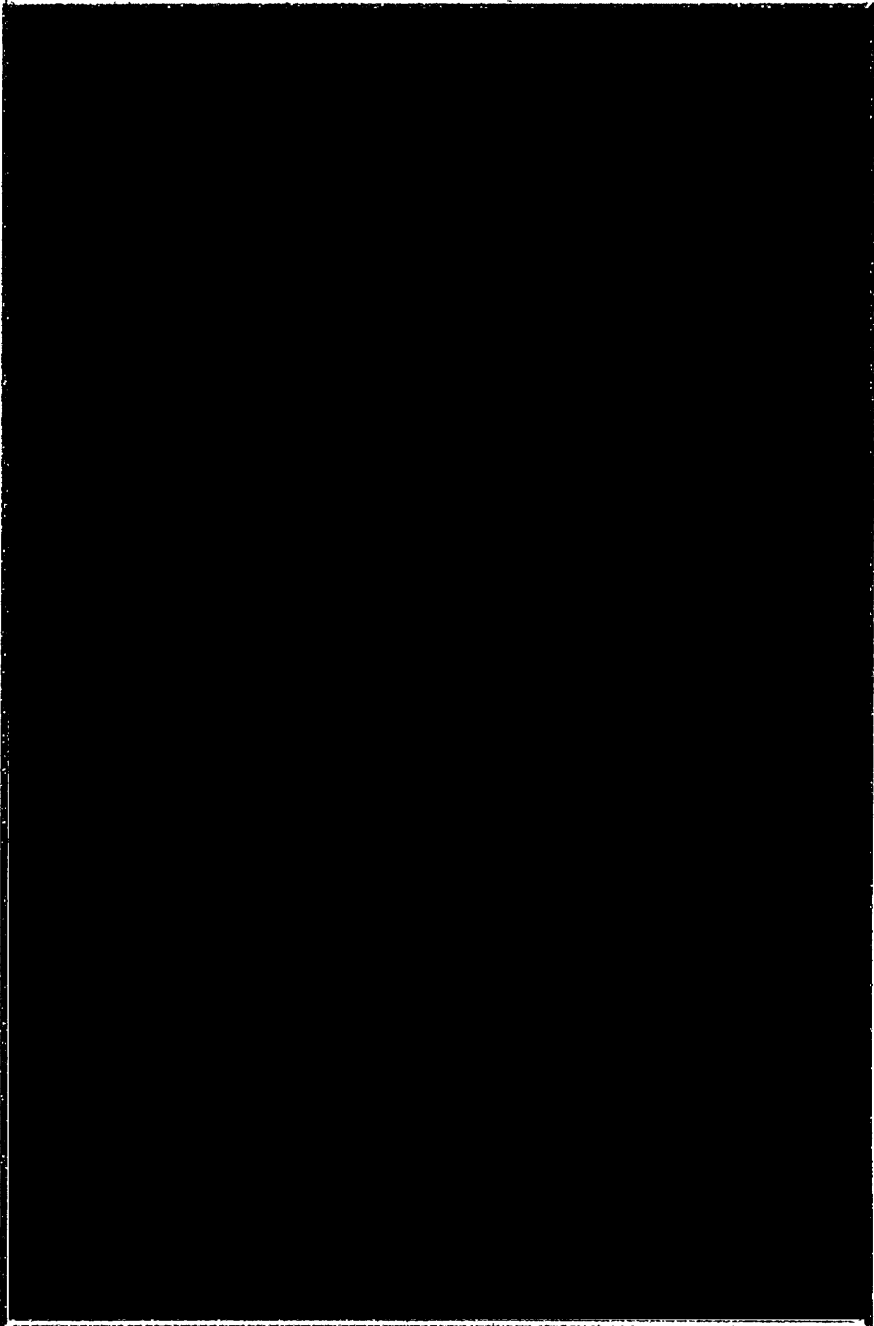
海軍公報 (部内限) 號外



0944

海軍公報 (部内限) 號外

三三



0945

海軍公報 (部内限) 號外

二三

0946

海軍公報 (部内限) 號外

二四

0947

海軍公報 (部内限) 號外

二五

0948

海軍公報 (部内限) 號外

二六

0949

海軍公報 (部内限) 號外

二七

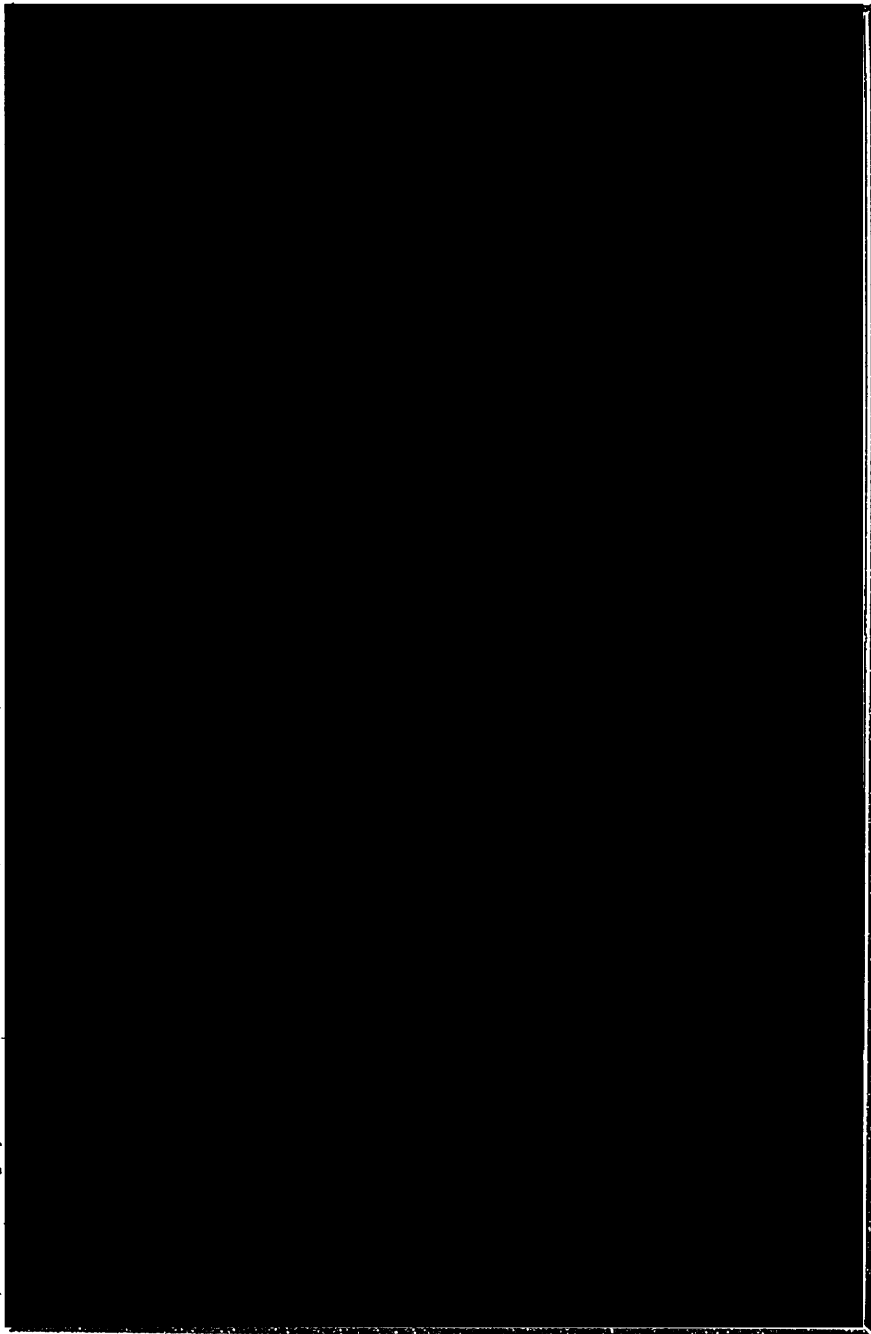
0950

海軍公報 (部内限) 號外

二八

0951

海軍公報 (部内限) 號外



二九

0952

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千四百六十一號

昭和十八年八月九日(月)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房人機密第三九二號

本年八月五日現在千島方面特別根據地隊職員タル者ハ
特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ千島
方面根據地隊ノ各相當職員ニ補命セラレタル義ト心得
ベシ

昭和十八年八月五日

海軍大臣

○ 通 牒

經物第一二九號

昭和十八年八月七日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

前金拂又ハ概算拂契約相手方ニ關スル件

通知

昭和十七年經物第一三五號第一第二項ニ依ル首題ノ件

左記ノ通承認致候

記

會社名	所在地
足立鋼管株式會社	川口市元郷町三ノ二、二、七、四
株式會社宇野澤組鐵工	東京都澁谷區山下町六、二
植松木材株式會社	臺北市北門町七
宇部興産株式會社	宇部市大字小串一九七六ノ一
株式會社小川鐵工所	神奈川県鎌倉郡大船町小袋谷 二六六
小野平(小野平商店)助	名古屋市中區東瓦町一三三
有限會社大原鐵工所	長岡市城岡町二三
株式會社河上機械製作	東京都芝區新橋三ノ二
郷原正(郷原精機工作所)	大阪市東成區深江中一ノ一六
京濱鋼鐵工業株式會社	東京都蒲田區仲六郷三ノ二、四 ノ三

海軍公報(部内限) 第四千四百六十一號

昭和十八年八月九日

八三三

0953

芝浦造船鐵工株式會社	東京都芝區高濱町五ノ九	<p>○ 辭 令</p> <p>臺北州公立小學校訓導 後藤 春治 <small>(註) 海軍省</small></p> <p>臺灣總督府屬 島倉、正明</p> <p>海南警備府ヲ免ス<small>(註) 同</small></p> <p>那須 正典 <small>(註) 同</small></p> <p>徵用中自今年額千五百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト <small>(註) 同</small></p> <p>川原 竹藏 <small>(註) 同</small></p> <p>徵用中自今年額千八百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス<small>(註) 同</small></p> <p>○ 雜 款</p> <p>○ 正誤<small>(券)</small> 昭和十八年七月六日附公報(部内限) 辭令欄六九九頁上段九行目近藤義雄ノ頭書ノ報酬額「千九百八拾圓」ハ「千四百七拾圓」ノ誤</p> <p>○ 本日暗送公報第五號發行ス</p>
株式會社昭和ケージ製作所	名古屋市中川區中出町一ノ三八	
昭和工機株式會社	東京都日本橋區通一ノ五(東海ビルディング内)	
角 田 嘉 正 (角田研磨機製作所)	川口市原町三七二九	
東京動力機械製造株式會社	東京都目黒區清水町四二二	
東北船渠鐵工株式會社	鹽釜市字杉ノ入表七二ノ四	
東邦自動車工業株式會社	東京都本郷區靜岡町三一	
戸根無線線株式會社	大阪府東區放出町三七二	
株式會社日曹製作所	東京都麴町區大手町二ノ八ノ七	
株式會社長谷川ポンプ工業所	大阪府東淀川區十三西之町五ノ七	
不二工業株式會社	名古屋市南區忠道町二八	
マルニ木工株式會社	廣島縣佐伯郡平良村大字下平良一三一六	
村木土木株式會社	西宮市下瓦林字豐年四二一ノ二	
村 瀬 善 一	萩市大字江向二〇三	

0954

海軍公報

(部内限) 第四千四百六十二號

海軍大臣官房

昭和十八年八月十日(火)

○令 達

官房經第八五五號

昭和十七年官房第四五九二號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月七日

海軍大臣

第一條第二項ヲ削ル

第二條中「外戰部隊ニ屬スル艦船又ハ海軍戰時特例給與規則第一條ニ掲グル地域ニ在ル部隊其ノ他ノ各部ニ赴任又ハ轉勤スル者ハ前條第一項」ヲ「戰地ニ在ル艦船部隊其ノ他ノ各部又ハ戰地ニ派遣セラルル目的ヲ以テ編成セラレタル艦船部隊其ノ他ノ各部ニ赴任又ハ轉勤スル者ハ第一條」ニ、第三條中「第一條第二項」ヲ「第二條」ニ、「第一條第一項」ヲ「第一條」ニ改メ第二條ヲ第三條トシ以下順次線下ゲ第一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第二條 前條ノ規定ニ該當スル者又ハ海軍戰時特例

給與規則第一條ニ掲グル地域(以下戰地ト稱ス)

ニ在ル艦船部隊其ノ他ノ各部若ハ戰地ニ派遣セララルル目的ヲ以テ編成セラレタル艦船部隊其ノ他ノ各部ニ赴任又ハ轉勤スル者新勤務地ニ家族ヲ移轉シ難キ事由アルトキハ所轄長ハ本人ノ願出ニ依リ家族移轉料ノ支給ヲ停止スルコトヲ得

參照 昭和十七年七月二十八日海軍公報(部内限)

官房人機密第三九九號

昭和十四年官房機密第六五八九號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月九日

海軍大臣

第十號中「徵兵」ノ下ニ「又ハ服役延期及應召(補充兵及國民兵ニ在リテハ基礎教育終了者)中ノ者」ヲ、同號(五)末尾ニ「但シ素質優秀ニシテ陸上普通勤務ニ適スト認ムル者ハ本人ノ適合スル特技兵講習員ニ選拔ス此ノ場合ハ選拔表身體欄ニ其ノ旨附記スルモノトス」

内令規
要登載

海軍公報(部内限) 第四千四百六十二號

昭和十八年八月十日

八三五

0955

ヲ加ヘ同號(四)ヲ左ノ如ク改ム

(四) 應召員ニ在リテハ講習ヲ終了シタル日ヨリ二年以上ノ服役期間ヲ有スル者

(參照)

昭和十四年官房機密第六五八九號ハ各種特技兵臨時講習並ニ人事取扱ニ關スル件ナリ(内令提要卷一、六七〇ノ一)

官房機密第四九三號

昭和十七年官房機密第九三號ニテ本勅停止

當分ノ間千島諸島ニ勤務スル者等ノ給與ニ關シ左ノ通

昭和十八年八月九日

海軍大臣

糧食

千島諸島ニ在ル海軍ノ各部ニ勤務(出張滞在ヲ含ム)スル軍人及軍屬(給與令第七十九條ノ二及第八十條ニ依リ食料又ハ糧食ノ支給ヲ受クル者ヲ除ク)並ニ囑託員、工員及同地ニ於テ使役セラルル人夫ニハ其ノ期間一食三十錢ノ金額以內ニ於テ適宜ノ糧食ヲ官給ス

前項ノ糧食品ノ供給及整理ニ關シテハ海軍省軍需局長及海軍省經理局長ヲシテ通牒セシム

二 旅費

千島諸島ニ出張スル軍人、軍屬、囑託員及工員ニ支給スル旅費ハ指定滞在地著ノ當日ヨリ起算シ十一日目ヨリ其ノ地發程ノ前日迄別表ニ依リ旅費日額ヲ支給シ日當、宿泊料及食卓料ハ之ヲ支給セズ

同一地ニ滞在中一時他ノ地ニ旅行シタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ前後ノ日數ヲ通算ス但シ引續キ滞在地ニ在ラザルコト三十日ヲ超ユルトキハ此ノ限ニ在ラズ

本令施行ノ際現ニ滞在中ノ者ニ在リテハ前二項ノ期間ノ計算ニ付テハ本令施行前ノ滞在日數ヲ通算ス

附則

本令ハ昭和十八年八月一日ヨリ之ヲ適用ス

(別表添)

○ 通牒

醫第七四九號

昭和十八年八月六日

海軍省人事局長
海軍省醫務局長

横須賀、吳、海軍人事部長
佐世保、舞鶴、鎮守府軍醫長 殿

徵募ニ關スル件通牒

徵募身體検査ニ當リテハ國民體力法ニ依ル體力手帳ヲ持參セシメ検査實施上ノ參考ト爲ス様準備相成度

軍需機密糧第一一二號

昭和十八年八月十日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

關係廳長殿

千島諸島ニ勤務スル者等ニ給與スル糧食品供給及整理ニ關スル件通牒

官房機密第四九三號ニ依ル首題ノ件ハ左記ニ依リ處理相成度

記

一 供給元

大湊海軍軍需部、同幌莚支

二 供給手續及整理

(イ) 糧食ノ官給ヲ受クル者ノ所屬海軍工廠、海軍航空廠、海軍建築部其ノ他各部ヨリノ請求ニ依リ供給スルモノトス

(ロ) 供給元ハ供給ノ都度糧食品領收票ヲ徵シ幌莚支

部ニ在リテハ其ノ寫ヲ大湊海軍軍需部ニ送付スルモノトス

(ハ) 大湊海軍軍需部ハ毎月其ノ前月分供給量(幌莚支)ニ於テ供給ノ分ヲ含ムヲ取纏メ供給集計表

(別紙様式)ヲ作製シ海軍省軍需局、供給先廳及其

ノ主務部局(海軍艦政本部、海軍航空本部、海軍

施設本部等)ニ各一通ヲ送付スルモノトス

(ニ) 供給元ハ消耗拂トシテ整理シ受給廳ハ適宜帳簿

ヲ設ケ其ノ受拂ヲ明カニ爲シ置クモノトス

(ホ) 供給單價ハ時價ヲ參酌シ大湊海軍軍需部ニ於テ

之ヲ定ムルモノトス

三 豫算移用

供給先廳ノ主務部局ハ前號(ハ)ノ供給集計表ニ依リ供給金額ニ相當スル豫算ヲ海軍省軍需局ニ移用スルモノトス

(別紙添)

海人機密第一號ノ三五八

昭和十八年八月九日

關係各廳長殿

海軍省軍需局長
海軍省人事局長

海軍公報(部内限)第四千四百六十二號

昭和十八年八月十日

八三七

0957

海軍練習聯合航空總隊ニ屬スル下士官ノ
特殊任用進級ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シ海軍武官任用令第二十二條ノ三及海軍
武官進級令第十六條ニ依ル獨立部隊ノ規定ハ海軍練習
聯合航空總隊ニ適用スル義ト了知相成度

經豫機密第三號ノ七八

昭和十八年八月九日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

日本銀行代理店設置ノ件通知

國庫事務ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ左記ニ設置シ夫々
之ガ事務ヲ取扱フコトト相成候

記

ジャツ 「マラン」

緬甸 「ランオ」、「タウンジ」

○ 辭 令

機械工員 田 中 彌
東京海軍通信隊附ヲ命ス(六月海軍省)

海軍航空技術廠附ヲ命ス(期間内)
海軍技手 奥村 鏡男

鐵道官 高橋 一朗
鐵道官補 宮下 新一

同 土田 賢

同 三輪 治一

同 青山 信吉

鐵道手 坂本 啓一

同 中島 金平

鐵道省雇 稻葉 仁

同 加藤 米一

同 村實 知隆

才ニ南邊艦隊司令部
附隨官海軍此政府附ヲ命ス(以上各同)

通信事務官 村田 善作

第三十五海軍軍用郵便所長ヲ命ス

(各通) 通信書記 牧野 榮

通信書記補 後藤 進

第三十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス

遞信局事務官 今井 徹二

第三海軍軍用郵便所長ヲ命ス(以上各同)

事務員 村澤 武男

0958

<p>(各通) 同 大澤 百敏 同 服部 清志</p> <p>第五海軍軍用郵便所員ヲ命ス 但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以明同)</p> <p>(各通) 遞信局事務官 藤枝 旗一郎 通信書記 中山 多喜夫 同 内田 明</p> <p>第三通信隊附ヲ免シ第八通信隊附ヲ命ス 通信書記 布引 八郎 同 岩本 巖 同 畑 和夫</p> <p>第三通信隊附ヲ免シ第二十一通信隊附ヲ命ス 同 德谷 榮治 (各通) 通信書記補 鈴木 令一</p> <p>東京海軍通信隊附ヲ免シ第八通信隊附ヲ命ス 通信書記 佐藤 高二 (各通) 同 今川 徹郎</p> <p>東京海軍通信隊附ヲ免シ第二十一通信隊附ヲ命ス 通信書記補 長田 宏</p> <p>東京海軍通信隊附ヲ免シ上海海軍特別陸戰隊附ヲ命ス</p>	<p>通信書記 横山 仁作</p> <p>上海海軍特別陸戰隊附ヲ免シ第二十一通信隊附ヲ命ス(以上以明同)</p> <p>臺灣公立公學校訓導 伊藤 久之</p> <p>海南警備府附ヲ免ス(以明同)</p> <p>海軍主計中尉 高木 正治</p> <p>セレベス民政部メナド支部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス</p> <p>同 工藤 敏</p> <p>右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上以明同) 海軍省經理局長)</p>	<p>○雜款</p> <p>○事務開始</p> <p>第二百二十一設營隊ハ七月二十五日佐世保海軍建築部内ニ於テ事務ヲ開始セリ</p> <p>海軍技術研究所音響研究部ハ八月一日沼津市下香貫ニ於テ事務ヲ開始セリ</p> <p>○事務所撤去</p> <p>第二七號掃海艇艇裝員事務所ハ七月三十日撤去セリ</p>
--	--	--

0959

海軍公報(部内限) 第四千四百六十二號 昭和十八年八月十日 八三九

第三十三號掃海艇艦裝員事務所ハ七月三十日撤去セリ

○訂正

八月三日附公報(部内限) 辭令欄八一七頁上段三行目
「新田目直壽」ノ辭令文中「事務ヲ囑託ス(報欄 待遇如故)」
ハ「事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス」ニ訂正

○正誤

五月十日附公報(部内限) 辭令欄四三七頁下段二行目
「第二遣支艦隊」ハ「海南警備府」ノ誤

○本日普通公報發行セズ

0960

(別表)

昭和 年 月 日

(昭和十八年八月十日海軍公報(部内限))

大湊海軍軍需部

海軍省軍需局
供給先務部
右ノ主務部局殿

昭和十八年軍需機密糧第一二號ニ依ル

糧食品供給集計表(月分)

供給先應名	同上ノ主務部局名	品名	代價	記事

備考 品名欄ハ何々外何廉ノ如ク記載スルモノトス

0961

別表

(昭和十八年八月十日海軍公報(部内限))

備考	日額		旅費等級
	乙	甲	
官ノ施設ニ起臥セシムルトキハ日額甲、官ノ施設ニ起臥セシメザルトキハ日額乙ヲ支給ス	九〇〇	七五〇	二等
	其ノ他 六〇〇	其ノ他 五〇〇	三等
	高等官 七五〇	高等官 六〇〇	
	四三〇	三五〇	四等
	三八〇	三〇〇	五等
	判任士 等官 三六〇	判任士 等官 三〇〇	六等
	二六〇	二〇〇	
	二三〇	一七〇	七等
	二〇〇	一五〇	八等
	二〇〇	一五〇	九等
	一五〇	一二〇	十等

0962

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千四百六十三號

昭和十八年八月十一日(水)

海軍大臣官房

0963

○ 令 達

官房軍機密第九四二號ノ三

陸海軍航空技術委員會規約別紙ノ通定ム

昭和十八年八月九日

陸軍大臣 東條 英機
海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令提
要登載

(別紙)

陸海軍航空技術委員會規約

第一條 陸海軍航空戦力ノ躍進的増強ヲ圖ル目的ヲ以テ主トシテ航空技術ニ關スル陸海軍間ノ諸案件ヲ協議決定スル爲陸海軍航空技術委員會(以下單ニ委員會ト稱ス)ヲ置ク

第二條 委員會ニ第一部會(協同試作)、第二部會(機體)、第三部會(發動機及プロペラ)、第四部會(搭載兵器及計器)及第五部會(原料及材料規格標準寸度)ヲ置ク

第三條 各部會ハ左ノ區分ニ依リ各所掌事項ノ審議協調ニ任ズ

一 第一部會

(イ) 協同試作機種及試作區分ノ審議

(ロ) 設計、試作及審査並ニ生産移行ノ實行ニ關スル業務ノ統一及連絡

(ハ) 協同試作ニ必要ナル搭載兵器、基本部品、計器、材料等ノ統一促進ニ關スル關係各部會トノ連絡

(ニ) 其ノ他協同試作關係事項ノ研究及審議

二 第二部會

機體ノ技術ニ關スル事項(生産關係ヲ含ム)ノ統制互助並ニ基本部品及用語ノ統一

三 第三部會

發動機及「プロペラ」ノ技術ニ關スル事項(生産關係ヲ含ム)ノ統制互助並ニ基本部品、用語ノ統一

四 第四部會

海軍公報(部内限) 第四千四百六十三號、昭和十八年八月十一日

八四一

搭載兵器及計器ノ技術ニ關スル事項(生産關係ヲ含ム)ノ統制互助並ニ制式規格及用語ノ統一

五 第五部會

原料及材料規格標準寸度ノ統一並ニ業務ノ協調

第四條 委員會ニ於ケル協議決定事項ハ各軍ニ於テ速ニ之ヲ常務機關ニ移シ實行スル如ク措置スルモノトス

前項ノ場合未決事項ニ關シテハ要スレバ之ヲ陸海軍航空委員會ニ付議スルモノトス

第五條 委員會ハ陸海軍航空本部長ヲ委員長トシ陸海軍大臣之ヲ主管ス

委員長ノ下ニ委員及幹事ヲ又第一部會ニ臨時委員ヲ置ク其ノ編制別表ノ如シ

第六條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第七條 委員ハ議案ヲ審議シ各軍間ノ協調連絡ニ任ズ

第八條 幹事ハ委員會全般ニ關スル庶務ヲ掌リ陸海軍航空委員會トノ連繫ニ任ズルト共ニ軍民關係技術者ノ陸海軍航空關係研究試作機關及工場ノ相互視察ニ關スル事項ヲ處理ス

第九條 臨時委員ハ協同試作機ノ設計、試作及審査ノ實施ニ關スル協調連絡ニ任ジ陸軍航空審査部並ニ海

軍航空技術廠及横須賀海軍航空隊ノ各主務職員ヲ以テ之ニ充テ必要ノ都度委員長之ヲ命ジ又ハ委囑ス

附則

陸海軍航空本部協調委員會ハ之ヲ廢止ス

(別表一葉添)

官房經第八六八號

昭和十五年官房第五三一三號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月九日

海軍大臣

別表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表)

國名	支給率	適用期間
佛國	〇、七〇	昭和十八年四月乃至七月
獨國	〇、一五	同
瑞西	〇、三五	同
伊國	〇、三〇	同
西班牙	〇、六〇	同

0964

瑞	典	〇、五〇	同
洪	牙	〇、三〇	同
羅	馬	〇、五〇	同
勃	牙	〇、三〇	同
葡	萄	〇、七〇	同
芬	蘭	〇、五〇	同
白	耳	〇、二〇	同
土	耳	〇、五〇	同
蘇	聯	〇、四〇	同
ア	フ	〇、六〇	同
ガ	ニ	〇、三〇	同
ニ	ス	〇、四〇	同
ス	タ	〇、四〇	同
タ	リ	〇、六五	同
リ	ン		

本表中泰國ノ支給率ノ適用ヲ受クル者ハ同國帝國大使館附武官同輔佐官及同國駐在員ニ限ル

官房艦機密第二一七四號ノ二
昭和十八年官房艦機密第二一七四號中左ノ通改正ス
昭和十八年八月九日
海軍大臣

第七號中「第十號書式、第十五號書式及第十七號書式」ヲ「第十號書式、第十四號書式、第十五號書式及第二十號書式」ニ改メ「科目別及艦船別ニ」ヲ削リ「當該年度總所要額」ノ下ニ「官給材料代ハ之ヲ朱書スルモノトス」ヲ加フ

(參照) 昭和十八年官房艦機密第二一七四號ハ大阪警備府附屬艦船ノ入渠並ニ船體、機關、兵器等ノ修理、新設、増設、撤去、換裝及改造ニ關スル件ナリ(昭和十八年五月十日海軍公報(部内限)第四三八四號)

○ 通 牒

運本機密第一號
昭和十八年八月二日
海軍運輸本部長

海軍公報(部内限)第四千四百六十三號

昭和十八年八月十一日

八四三

0965

關係廳長殿

海上輸送請求ノ件照會

首題ニ關スル各廳ノ請求書様式竝ニ之ガ到達期日等區々ナル爲輸送計畫策定上多大ノ困難アルニ付自今左記ニ依リ請求ノコトニ取計相成度

記

一 輸送請求票ヲ分チテ輸送請求票甲及輸送請求票乙ノ二種トス

二 輸送請求票甲ハ運輸本部ニ於ケル翌月ノ輸送計畫立案ノ爲必要ナルモノニシテ中央各部局ニ於テ地方各廳ノモノモ一括取纏メ調整スルモノトス
三 輸送請求票乙ハ直接運輸ノ實施ヲ阻害ナラシムル爲中央輸送計畫ニ基キ決定セル輸送人員物件ノ積出整備豫定着キ次第各地方廳ニ於テ調整スルモノトス
四 請求期日及請求票通數等

項 別	請 求 元	請 求 部	請 求 期 日	請 求 票 通 數
輸送請求票甲	中央各部局	運輸本部	翌月分ヲ當月五日迄	二 通
輸送請求票乙	地方各廳	運輸部(又ハ支部)本部	概ネ積込十日前迄	各一通

(備考)

(一) 輸送請求票甲ニ依リ翌月分輸送請求後生シタル緊急輸送ヲ要スルモノ又ハ已ムヲ得ズ變更ヲ要スルモノハ其ノ都度輸送請求票甲ノ追加訂正(二通ヲ運輸本部ニ送付)ヲ行フモノトス
(二) 各地方廳ハ必要ニ應ジ輸送請求票甲ニ準ジ

翌月要輸送人員物件ノ資料ヲ當月一日迄ニ中央關係部局竝ニ最寄運輸部ニ各一通宛送付スルモノトス
五 請求票様式
輸送請求票甲 別表第一様式
輸送請求票乙 別表第二様式
(別紙ニ葉添)

0966

鎮海警備府ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(昭和十七年海軍省)

眞原 勝平

内務事務官 横大路 俊一

同 林 敬雄

農林事務官 土屋 四郎

遞信省事務官 新井 鹿之助

内務屬 小磯 正二

同 笹 政志

同 今野 政五郎

農林技手 細谷 勝次

同 林 貫一

第二南遣艦隊司令部附ヲ免シニューギニア民政府附ヲ命ス(昭和十七年)

第三日の丸機關長 伊藤 義三郎

自今報酬年額參千八百圓ヲ給ス(昭和十七年)

第二南遣艦隊事務囑託

三浦 襄

自今報酬ヲ給セズ

花田 秀夫

海南警備府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額九百六拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上六同)

佐藤 志郎

海軍省南方政務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

相内 重太郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以上六同)

奥村 潤一

ニューギニア民政府ニ於ケル事務囑託ヲ解キ海軍省南方政務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス(待遇如故)(七同)

穴澤 忠平

海軍省南方政務部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(七同)

矢部 茂

參千六百六拾圓

千四百七拾圓

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託ス

緒形 五郎

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

森 近敏

戸波 一雄

ラバウル海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

森 近敏

戸波 一雄

海軍公報(部内限) 第四千四百六十三號

昭和十八年八月十一日

八四五

0967

遇トス

岸原新

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス

白岩忠雄

南西方面海軍民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス(以上ニ同)

森岡正次郎

マカツサル研究所ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待
遇トス(二十五日同)

大沼孝志

海南警備府ニ於ケル事務ヲ囑託ヲ解キ南西方面海軍民
政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス(報酬如故)

海軍省經理局事務囑託

横山涉

自今報酬ヲ給セズ(以上ハ同)

渡邊辰藏

鹿児島海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待
遇トス

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

岩田良策

左納源一郎

南西方面海軍民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス

關東氣象臺技師 植田利政

旅順方面特別根據地隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

住田正一

海軍運輸本部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待
ト遇ス(以上ハ同)

0968